

日時

:場所

平成 31(2019)年 6 月 28 日(金)

グリーンホール会議室

司会&記録担当 (敬称略)

林(代表=司会) & 神田(副代表=書記)

内容

1. 各クラスの「概況」報告がされた。

A クラス:総勢 10 名中の9名が出席(一人が会社の出張中)。出席率が安定している。

際立って遅れているイラン人女性とウズベキスタン人女性のための補助教材(テキストに対応・スリーエイ社刊)を発見、自己負担での購入を仲介した。嬉しそうに受け取り、代金を支払ってくれた。(項目2参照)

B クラス:総勢 13 名で、10 名が安定的な出席者である。和気あいあいのクラス運営ができています。

C クラス:12~13 名のレベルで落ち着くと見ている。本日は9人の出席。

2. ペルシャ語・ウズベク語(各 800 円=税抜)の補助教材に関して複数意見が述べられた。

今後も、新しい言語圏からの学習者が入学してくることが想定される。

今回のように媒介語が見当たらない場合(お二人とも英語を解さない。二人の間ではトルコ語が通じているらしい。

講師側ではペルシャ語、ウズベク語、トルコ語に対応できない。)もあり得る。

学習者も困るが、教える側にとっても「媒介語」ないしは、学習者の国語で書かれた教材があれば、教室の対応力が保てる可能性が生じる。A クラスが対応を求められるケースが多いと思われる。A クラスは、板橋区と教室の「第一印象」を司り、B クラス・C クラスへと引き継ぐ「最初」を担当するなど、特に大切だとの発言もあった。

林代表を通じて、蔵書配備に関する将来への対応を交流課と意見交換していただくことでまとめられた。

3. 各種連絡事項

1 倉庫が施錠されていないことが2~3度あった、と施設側からご注意があった。改めてご留意を。

2 ABC クラスの運営とは関係のない話題で申し訳ありません。水曜会話サロンの夜、サポーターを募集しております。ご存じの通り、財団情報誌「ふれあい」にて募集を行いました。数名の区民のかたがすでに参加して下さっておりますが、定着して下さるかは、まだ未知数です。中には昼間のほうが、都合がいいとおっしゃるかたもいらっしゃるそうです。みなさまも、一度遊びにきてお手伝いいただくと、嬉しいです。2~3 か月に1度でも大歓迎です。(朝倉さんからの呼びかけ)

3 AJALT 品田先生が、「ブラッシュアップ講座」準備を目的として、7月2日に授業参観にお見えになると、再確認された。

4 本語教室用の倉庫が模様替えされた後、現在、より利用しやすい資料庫として、刷新が取り組まれている。

…A4 版絵教材を取り出しやすく・しまいやすくする。

…在庫図書・教材・教具類の総目録の作成。

…貸出管理ノート(現在見当たらないので)の再作成。

…月木コースと火金コースのスペースの区分がいま一つ明確でない。

5 C クラスが、今、「・・・(ます)ように！」を学習していて、約10日間、教室に笹の葉をもちこみ、短冊をつくらせている。他クラスからの短冊も歓迎します(朝倉さん)、のお誘いがあった。

<出席者>森田、鈴木(雄)、棚木、山崎、朝倉、小藤田、能川、熊井、村松、本家、吉永。

次回は 2019 年 7 月 30 日(火)です。